

## (2) 硬化したコンクリートの表面のレイタンス等は取り除き、ぬらしているか

コンクリートを打ってからしばらくすると表面に水が浮いてきます。この水のことをブリーディング水と呼んでいます。ブリーディング水はコンクリートにとって不要な水を含んでいます。硬化に従い不要水が存在した部分が空隙となり外からの二酸化炭素や水の浸入を容易にして、中性化等の原因となります。

また、コンクリート打込み後、重力の働きにより、重たい粒子は沈下しようとしませんが、セメントに含まれる粘土分などの、微細な粒子は、ブリーディングに伴い、浮上します。

レイタンスは、コンクリート打込み後に、内部の微細な粒子が浮上しコンクリート表面に形成する弱い物質の層のことを言います。レイタンスは、上下コンクリートの一体化を阻止するため、打継ぎの際に除去する必要があります。

打継ぎ目に十分な強度や耐久性、水密性を持たせるためには、先に打込みされたコンクリート上部にたまった、レイタンスや緩んだ骨材粒を除去してから打ち継ぐことが大切です。

打継ぎ面の処理方法としては、硬化前処理方法と硬化後処理方法があります。硬化前処理方法としては、コンクリートが凝結した後、高圧の空気や水でコンクリート表面のレイタンスを除去して、粗骨材を露出させる方法や、コンクリート表面に遅延剤を散布して硬化を遅らせ、打継ぎ面を処理する方法があります。

硬化後処理方法には、高圧の空気や水を吹き付けて入念に洗う方法や、水を掛けながらワイヤブラシ等を用いて表面を粗くする方法があります。

